

第4回宇宙開発利用体制検討ワーキンググループ
ヒアリング資料

平成21年1月19日
内閣情報調査室
内閣衛星情報センター

情報収集衛星に関する基本的な考え方

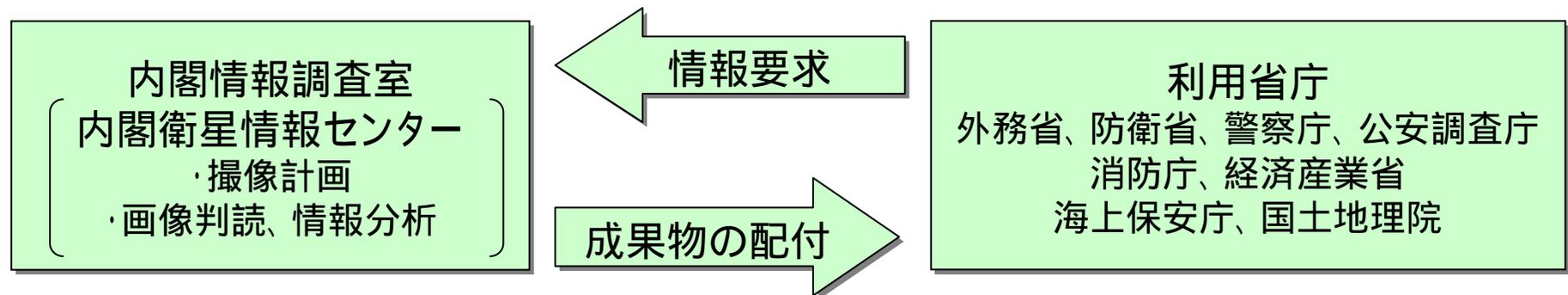
1. 情報収集衛星の意義

情報コミュニティの重要な情報収集の手段として活用。

内閣情報調査室では、情報収集衛星で得られる画像情報のほか、他の様々な情報も合わせ、総合的な情報分析を実施。

2. 情報収集衛星の活用

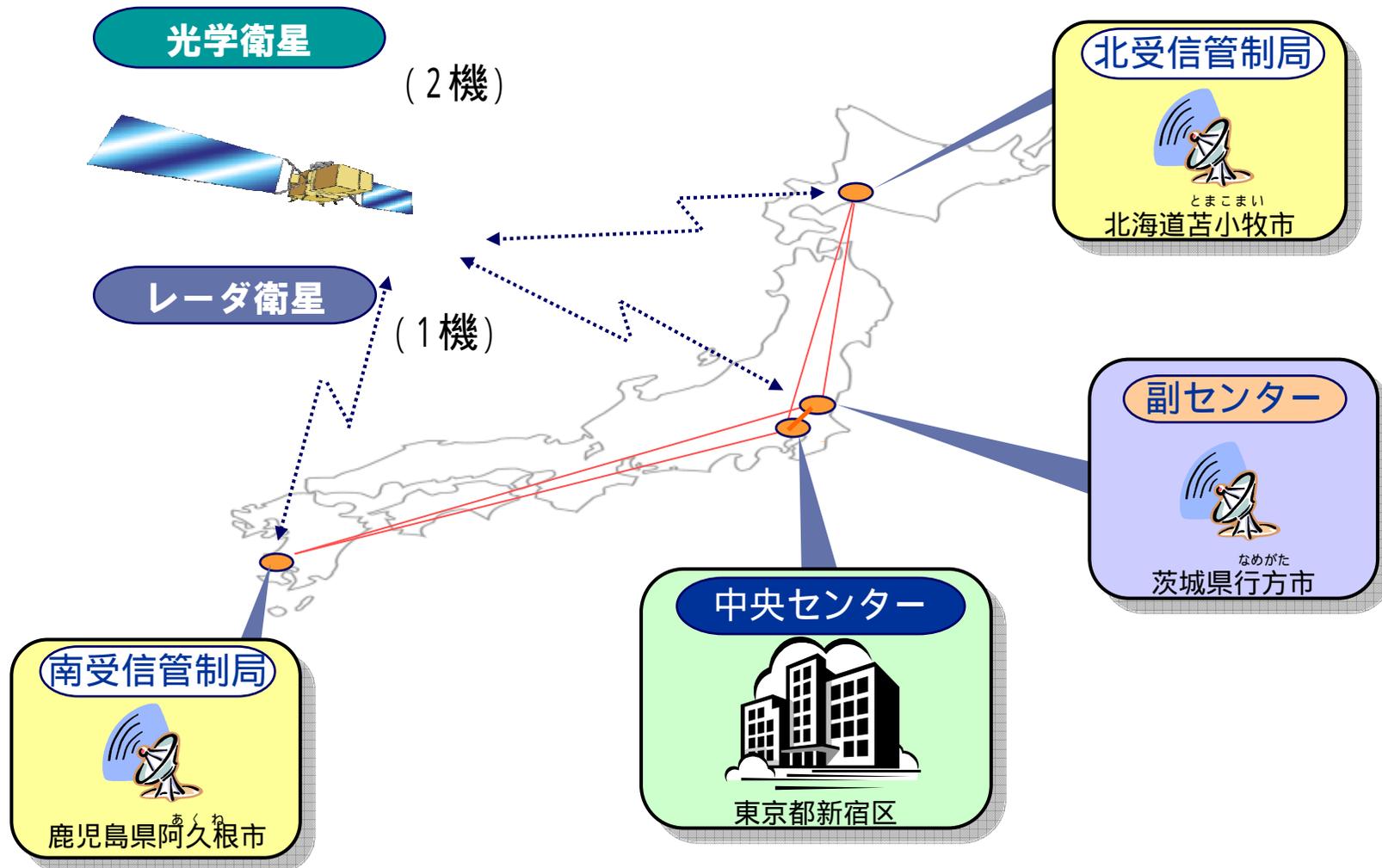
内閣の情報機関たる内閣情報調査室にて、総合的な見地から利用省庁間の情報要求の調整と成果物の配付を実施。



なお、情報収集衛星の開発・運用に際しては、情報保全に万全を期すことが不可欠

情報収集衛星の開発・運用の理念

自主開発
自主運用
情報コミュニティを中心として政府全体で活用



情報収集衛星の開発・運用体制

総 理

内閣情報会議 (議長：内閣官房長官)

情報収集衛星推進委員会

開発に関する基本方針等を総合的に検討

委員長：内閣官房副長官(事務)
メンバー：情報コミュニティ省庁及び開発関係省庁

情報コミュニティ省庁等

防衛省
外務省
公安調査庁
警察庁
内閣衛星情報センター所長
内閣情報官
内閣官房副長官補(安危)
内閣危機管理監

開発関係省庁

総務省
文部科学省
経済産業省

情報収集衛星運営委員会

運営等に関する基本方針等を総合的に検討

委員長：内閣官房副長官(事務)
メンバー：情報コミュニティ省庁のみ

情報コミュニティ省庁等

防衛省
外務省
公安調査庁
警察庁
内閣衛星情報センター所長
内閣情報官
内閣官房副長官補(安危)
内閣危機管理監

内閣情報調査室

総合的な情報分析

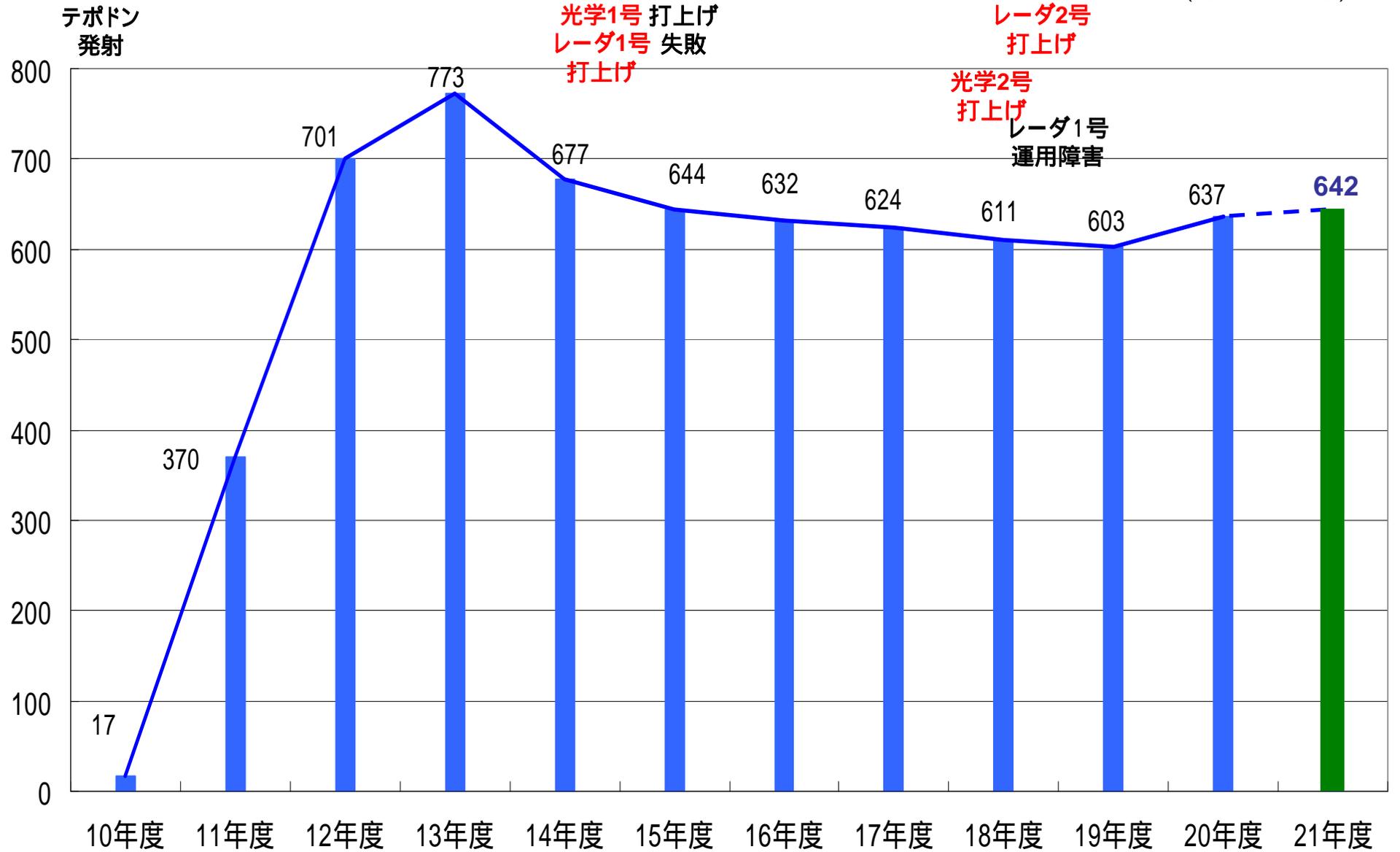
内閣衛星情報センター

情報収集衛星の開発・運用(撮像や画像情報の分析)

厳格な情報保全

情報収集衛星予算の推移

(単位:億円)



18年度補正予算額(2.6億円)は含まず

平成21年度予算における内閣衛星情報センターの施策

1. 新規開発着手

新実証衛星 (平成24年度打上げ予定)

光学性能の向上に向けた技術の実証

新地上システム

光学5号機以後の新世代の衛星に対応した地上システム

2. 開発継続

光学衛星: 3号機 (平成21年度打上げ予定)

4号機 (平成23年度打上げ予定)

5号機 (平成26年度打上げ予定)

レーダ衛星: 3号機 (平成23年度打上げ予定)

4号機 (平成24年度打上げ予定)

3. 運用

光学衛星: 1号機、2号機、実証衛星

レーダ衛星: 2号機

情報収集機能の拡充・強化策(案)

5つの方向性

今後検討すべき施策の例

1. 「量」の増加
関心地域の撮像機会を増加



・機数増
・俊敏性の向上 等

2. 「質」の向上
商用画像を凌駕する画質の実現



・センサの高性能化
・新たなセンサの導入 等

3. 即時性
要求から配付までの時間短縮



・地上処理の迅速化
・地上局の増設
・データ中継衛星の利用 等

4. 適切性
必要とされる情報の確実な提供



・適時適切な成果物の配付
・データベースの整備
・デブリ対策 等

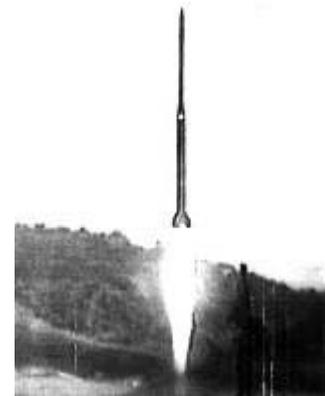
5. 多様性
画像情報分野以外への展開



・電波情報衛星 等

(参考) 導入の決定

平成10年 8月31日 北朝鮮によるミサイル「テポドン」の発射



〔北朝鮮による
テポドンの発射〕

12月22日 情報収集衛星の導入を閣議決定

「政府は、外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的として、平成14年度を目途に情報収集衛星を導入する。」

(参考)沿革

- 平成11年 4月 1日 情報収集衛星**推進委員会**の設置 (委員長：官房長官)
平成20年3月改組
- 12年 9月 1日 情報収集衛星**運営委員会**の設置 (委員長：官房副長官)
(事務)
- 13年 4月 1日 内閣情報調査室に**内閣衛星情報センター**を設置
- 15年 3月28日 **光学1号機・レーダ1号機**打上げ
- 11月29日 光学・レーダ各1機 打上げ失敗
- 16年 4月 1日 情報収集衛星の定常運用を開始
- 18年 9月11日 **光学2号機**打上げ
- 19年 2月24日 **レーダ2号機**打上げ
- 3月25日 **レーダ1号機**に運用障害



〔1号機の打上げ〕9